令和３年１０月６日
農　林　水　産　省

「令和3年度病害虫発生予報第8号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

・ 野菜類では、ハスモンヨトウの発生が、南関東、東海、近畿及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。
・ 果樹・茶では、かきの炭そ病の発生が、北陸、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、野菜類のシロイチモジヨトウ等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報(発生予察情報)を提供しています。
本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報
参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html
都道府県病害虫防除所
参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120105_boujosho.html

気象

気象庁の向こう1か月の予報（9月30日付け）では、気温は東・西日本と沖縄・奄美で高く、北日本では平年並か高いと予想されています。また、降水量は沖縄・奄美で平年並か多いと予想されています。

気象庁ホームページ
参照URL:https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html　（外部リンク）

大豆

大豆で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
大豆	アブラムシ類	東海	北陸
	吸実性カメムシ類	東海、北九州	南関東、甲信、近畿、四国、南九州

注）表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・**吸実性カメムシ類**の発生が、東海及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫の飛来状況は地域や園地により異なるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にしつつ、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アブラムシ類	北九州	北関東、東海、四国
	ハダニ類	南関東、東海	北関東、九州
	炭そ病	東海、四国	北関東、甲信、近畿
キャベツ	黒腐病		甲信、北陸、中国
きゅうり	コナジラミ類	北九州	南関東、北陸、近畿
トマト	コナジラミ類	東海、北陸	南関東、甲信、南九州
	葉かび病	東海、南九州	
なす	アザミウマ類	南関東	北陸
ねぎ	アザミウマ類	南関東、東海、北陸	北関東、北九州
	黒斑病	東海、北陸	北関東
	さび病	北陸	北東北
きく	アザミウマ類		北東北、近畿、南九州
作物共通	オオタバコガ		関東、東海、北陸、近畿、四国、北九州
	シロイチモジヨトウ	北陸、近畿、中国	南関東、四国、北九州
	ハスモンヨトウ	南関東、東海、近畿、中国	北関東、北陸、四国、九州

注）表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

いちご

・**アブラムシ類**の発生が、北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、発生初期をとらえた防除が重要です。ほ場の観察をきめ細かく行い、適期の防除を実施してください。
なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**ハダニ類**の発生が、南関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、発生初期をとらえた防除が重要です。ほ場の観察をきめ細かく行い、適期の防除を実施してください。
なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**炭そ病**の発生が、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。感染株は早期に抜き取り、ほ場外で適切に処分してください。本病は高温・多湿になると発生しやすいので、施設内が過湿とならないように、適切なかん水管理を行ってください。また、かん水の水滴が大きいと菌の胞子が水はねにより飛散するため、かん水の際には水滴の小さい機材等の利用も検討してください。

きゅうり

・**コナジラミ類**の発生が、北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。ほ場内の発生状況に注意しつつ、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、適期に防除を実施してください。
また、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

トマト

・**コナジラミ類**の発生が、東海及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。ほ場内の発生状況に注意しつつ、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、適期に防除を実施してください。
また、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

ねぎ

・**アザミウマ類**の発生が、南関東、東海及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。ほ場内の発生状況に注意しつつ、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、適期に防除を実施してください。
また、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。

・**黒斑病**の発生が、東海及び北陸の一部の地域で多くなると予想されています。本病は主に葉身に発生し、多湿条件で発生が助長されます。多発すると防除が困難になるので、ほ場の観察をきめ細かく行うとともに、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

作物共通

・**シロイチモジヨトウ**の発生が、北陸、近畿及び中国の一部の地域で多くなると予想されており、鳥取県から注意報が発表されています。老齢幼虫になると薬剤が効きにくくなるため、ほ場内の発生状況に注意しつつ、若齢幼虫期をとらえた防除を実施してください。

・**ハスモンヨトウ**の発生が、南関東、東海、近畿及び中国の一部の地域で多くなると予想されており、鳥取県から注意報が発表されています。老齢幼虫になると薬剤が効きにくくなるため、ほ場内の発生状況に注意しつつ、若齢幼虫期をとらえた防除を実施してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	炭そ病	北陸、東海、四国	近畿
かんきつ	ハダニ類	南九州	南関東、近畿、北九州
なし	黒星病	東海	南東北、北陸
茶	チャノホソガ	近畿	南関東
	ハダニ類	南関東、東海、近畿	南九州

注）表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

かき

・**炭そ病**の発生が、北陸、東海及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、岐阜県及び香川県から注意報が発表されています。本病は降雨が続くと発病が助長されるので、天候の推移に注意しつつ、適期の薬剤散布や発病果の除去等の防除を実施してください。

かんきつ

・**ハダニ類**の発生が、南九州の一部の地域で多くなると予想されています。園内を注意深く観察し、発生状況に応じて防除を実施してください。
なお、本虫は薬剤抵抗性を獲得しやすいので、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に同一系統の農薬の連続使用を避けてください。

なし

・**黒星病**の発生が、東海の一部の地域で多くなると予想されています。本病は、収穫後の防除対策を適切に行うことにより、翌年の発生の抑制に繋がります。本年多発生となった園地にあっては、来年の発生を抑えるため、収穫後に、り病枝の切除と薬剤散布による防除と、り病葉（落葉）の園外への除去を的確に実施してください。

茶

・**ハダニ類**の発生が、南関東、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。翌春の病害虫防除を効率的かつ効果的に実施するため、本虫の越冬量を低下させ、翌春の発生を抑制することが重要です。都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、秋整枝後に茶園の裾部をよく観察し、発生密度が高い場合には、休眠期前までに薬剤散布を実施してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和3年9月8日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
9月16日	岐阜県	果樹（かき、なし、りんご、みかん等）	果樹カメムシ類
9月16日	岐阜県	かき	炭そ病
9月16日	長崎県	かんきつ	かいよう病
9月22日	香川県	かき	炭そ病
9月24日	鳥取県	野菜（ねぎ、ブロッコリー、キャベツ等）	ヨトウ類（シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ）

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
9月8日	大阪府	きゅうり	退緑黄化病
9月10日	富山県	なす	タバコミノハムシ
9月13日	東京都	飼料用トウモロコシ	ツマジロクサヨトウ
9月15日	栃木県	うめ、もも	*Shingapora shinshana*（ヨコバイ科の一種）
9月21日	福岡県	リンドウ	トマト黄化葉巻ウイルス
9月22日	青森県	ねぎ	ネギハモグリバエ（別系統）
10月1日	島根県	キャベツ	トビイロシワアリ

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。
病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

用語解説

（地域）
北海道：北海道
東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
　　北東北：青森県、岩手県、秋田県
　　南東北：宮城県、山形県、福島県
関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
　　北関東：茨城県、栃木県、群馬県
　　南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
甲信：山梨県、長野県
北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県
東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
　　北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
　　南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
沖縄：沖縄県

（発生量（程度））
多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅
やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅
やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅
少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅
（平年値は過去10年間の平均）

（参考）今後の発表予定
第9号:11月10日(水曜日)
第10号:令和4年3月9日(水曜日)

（参考）これまでの発表
第1号:4月14日(水曜日)
第2号:5月12日(水曜日)
第3号:6月9日(水曜日)
第4号:7月7日(水曜日)
第5号:7月16日(金曜日)
第6号:8月4日(水曜日)
第7号:9月8日(水曜日)

【お問合せ先】
消費・安全局植物防疫課
担当者：岡田、麻野、吉田
代表：03-3502-8111（内線4562）
ダイヤルイン：03-3502-3382